

# 触媒学会創立 60 周年記念事業報告

## 記念事業準備委員会

平成 27 年度秋に準備委員会を立ち上げ、記念事業の内容および記念式典・祝賀会の内容、プログラム、予算、招待者等を含む計画を立案し、平成 28 年 5 月開催の理事会に提案した。

実行体制:記念式典準備委員会

松久敏雄(委員長)、松橋博美、村松淳、田中庸裕、山下弘巳、大塚浩文、大谷内健、渡部恭吉

## 記念事業実行委員会

平成 28 年 9 月に実行委員会を立ち上げ、平成 28 年 5 月開催の理事会にて承認された内容について、具体的な計画を立案し、実行した。

実行体制:60 周年記念事業実行委員会

江口浩一(委員長)、武脇隆彦(幹事)、朝倉清高、片田直伸、末澤寛典、関 浩幸、佃 達哉、福岡 淳、町田正人、村松淳司、山中一郎、和田健司、山下弘巳、渡部恭吉

## 個別事業の概略

### 1. 記念式典・祝賀会

平成 30 年 8 月 9 日(木)15 時からパシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい)にて触媒学会創立 60 周年記念式典を開催した。記念式典は、下記の式次第に従って行われ、参加者は約 300 名で盛況であった。

引き続き18時30分から横浜ベイホテル東急にて記念祝賀会を執りおこなった。記念祝賀会は、8 月 5~10 日まで開催の「The 8th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (TOCAT8)」のバンケットと合同で開催し、約 500 名の参加者を得た。

## 記念式典(パシフィコ横浜 会議センター1F メインホール)

司会:触媒学会副会長 山下弘巳

主催者挨拶(15:00~15:10)

触媒学会会長 福岡 淳

来賓ご挨拶(15:10~15:30)

文部科学省研究開発局環境エネルギー課課長 横地 洋氏

日本化学会 代表理事・常務理事(中部大学 教授) 澤本 光男氏

触媒工業協会会長 (エヌ・イー ケムキャット代表取締役社長) 岡田 功氏

北海道大学触媒科学研究所所長 長谷川 淳也氏

名誉会員証および感謝状授与式(15:30~15:40)

名誉会員証授与:辰巳 敬氏、感謝状授与:大谷文章氏

触媒学会のあゆみ(15:40~16:00) 触媒学会会長 福岡 淳

記念講演(16:10~17:50) 司会 江口浩一氏

1)「触媒学会の 60 年を振り返る -「触媒」誌からキーワードを拾いつつ」

東京工業大学名誉教授・触媒学会名誉会員 小野 嘉夫氏

2)「未来一考:触媒科学に期待する」

旭化成(株)・元触媒学会会長 永原 肇氏

記念祝賀会(横浜ベイホテル東急 クイーンズグランド ボールルーム)(18:30~20:30)

主催者挨拶 TOCVAT8 組織委員長 堂免一成

触媒学会会長挨拶 福岡 淳

実行体制:60周年記念事業実行委員会

## 2. 「触媒」記念特集号

会誌「触媒」60巻第4号は、触媒学会創立60周年記念特集号として発行され、次のような特集記事が掲載された。なお、発刊日は、TOCAT8 初日である8月5日に変更して発行された。

1) 時評 触媒学会創立60周年に寄せて 福岡 淳

2) 触媒学会創立60周年記念座談会

今年還暦を迎える理事・役員経験者が一堂に会して座談会を開催した。出席者:赤間 弘(日産自動車)、田中庸裕(京都大学)、西山 寛(神戸大学)、福岡 淳(北海道大学)、藤田照典(三井化学)、司会:井上朋也(産総研)

3) 学会賞(技術部門)の研究紹介

4) 奨励賞受賞者・公募企画受賞者の研究紹介

5) 触媒学会の歩み

6) 触媒学会創立60周年記念「触媒研究に関する意識アンケート」集計結果報告

40周年・50周年で行っていたアンケートについても、同じ質問を中心に、いくつかの設問を追加し、2018年3月に東大駒場で開催された触媒討論会にて配布・回収した。討論会に参加した正会員・シニア会員・S会員の1/3以上の方に回答を頂いた。

実行体制:平成29年度会誌編集委員

和田健司(委員長)、関根 泰(幹事長)、井上朋也(幹事)、小林広和(幹事)、  
田村 正純(幹事)、村山美乃(幹事)、室山広樹(幹事)、吉田 朋子(幹事)、  
阿部川弘明、石井聖一、板垣真太郎、沖田 充司、恩田歩武、熊 涼慈、桑原泰隆、  
瀬川敦司、高垣 敦、田中 学、中谷 哲、松本太輝、三浦大樹

## 3. TOCAT&CATSJの英文パンフレットの製作

海外の方々にTOCATと触媒学会を深く理解していただくことを目的として、TOCATと触媒学会の歴史をまとめた英文パンフレットを1,500部作成し、TOCAT8会場にて配布した。触媒学会HPにて公開する。

実行体制:国際交流委員会WG

富重圭一(委員長)、阿部竜、穴戸哲也、清水研一、関根泰、椿範立、永岡勝俊、  
山口和也、吉田寿雄、和田健司

## 4. 若手研究者育成基金の財源補充

50周年記念事業として特別会計「若手研究者育成基金」を設置した。この基金設置の趣旨は次のとおりである。これまで、主に「若手優秀講演賞副賞」、「若手海外渡航助成」の他、「キャタリシスパーク」などの普及啓発活動の開催に使用され、多数の若手研究者の育成および社会貢献に活用されてきた。

(1) 35歳以下の研究者を対象とする教育訓練

(2) 35歳以下の研究者の研究発表等研究活動の助成

(3) 35歳以下の研究者を対象とする顕彰

(4) その他理事会で承認された若手育成事業

「若手研究者育成基金」設置後10年が経過し、残高が減少した。平成30年から、10年間継続するため、財源を新規事業特別会計から補充し、60周年記念事業として継続する。

実行体制:60周年記念事業実行委員会

## 5. 記念品の作成

「創立60周年記念 一般社団法人触媒学会」を名入れしたシャープペンシルを作成し、記念式典、TOCAT8参加者に贈呈した。

実行体制:60周年記念事業実行委員会

## 6. 第121回触媒討論会での記念企画

2018年春(駒場)で開催された第121回触媒討論会で、統計データを中心にアップデートしたパネルを展示し、この10年を振り返った。

実行体制:町田討論会委員長

## 7. 団体会員への「わが国の工業触媒の歴史」の謹呈

触媒学会シニア懇談会有志からなる日本の工業触媒の歴史編纂実行委員会により、かねてより編集を進めてきた「わが国の工業触媒の歴史」(総説と記録—20世紀からの伝言—)が、平成30年2月に刊行にされた。触媒学会が平成30年7月に創立60周年を迎えるにあたり、団体会員115社に記念として謹呈した。

実行体制:60周年記念事業実行委員会

## 8. 触媒技術の動向と展望 2018 創立60周年記念号の発行

触媒年鑑「触媒技術の動向と展望 2018」では、創立60周年記念号の独自企画として、第一編の研究動向に下記の2つの寄稿を掲載した。

1. 触媒学会の60年—「触媒」・「触媒討論会」から振り返る—

東京工業大学名誉教授、触媒学会元会長 小野嘉夫

2. 触媒—これまで、そしてこれから

三井化学(株)、触媒学会副会長 藤田照典

実行体制:触媒年鑑「触媒技術の動向と展望 2018」出版実行委員

村上雅美(委員長)、大竹正之(参与)、荒木泰博、清水幸太、高沖和夫、高垣 敦、松下 健、水上範貴、満留敬人

以上

(文責 渡部恭吉)

## 添付資料

- 1) 記念式典 会長挨拶
- 2) 同 文科省挨拶
- 3) 記念講演 小野先生講演要旨
- 4) 同 永原氏講演要旨、PP 抜粋資料
- 5) 写真